

# Patipadā

Vol.15, No.8 / 通巻 166 号

## 12

仏暦 2552 年

Namo Tassa Bhagavato Arahato Sammā Sambuddhassa

阿羅漢であり、正自覚者であり、福運に満ちた世尊に、敬礼したてまつる

パティパダー  
Patipadā とは、

パーリ語で「道」を意味します。

中正の道（中道）、すなわち八正道は、

マッジママーパティパダーとします。

お釈迦さまのお示しになられた

幸福への普遍的な「道」を

私たちも歩み続けているのです。



日本テーラワーダ仏教協会

## 目次

Sabbe sattā bhavantu sukhittattā  
生きとし生けるものが幸せでありますように

扉

「真理の発見は  
「なぜ？」から始まる

● A・スマナサーラ長老  
編集・佐藤哲朗

巻頭法話

根本仏教講義【新連載】

釈尊の教え・あなたとの対話

パリー經典を読む【最終回】

Mindfulness in plain English

ジャータカ物語

初めての人のパリー語

パリー經典 小部

空虚な知識人

人の中身とは解脱の智慧である  
Knowledge can deceive you

サンガハラ経 能力を奪う五つの障害 ① なぜ覚えたことを忘れるのか？

● A・スマナサーラ長老  
編集／出村佳子

業の教えは「泣き寝入り」の教え??  
「自業自得」論への疑問

● A・スマナサーラ長老  
編集／佐藤哲朗

沙門果経 ④⑥

天眼の智（続き）・アジャータサットウ王の帰依

● A・スマナサーラ長老  
編集／杜多千秋

気づき ⑩

日常生活における瞑想

● H・グナラタナ大長老  
翻訳／出村佳子

⑩⑧ 使者に語らぬ行者の物語

● 監修／A・スマナサーラ長老  
編集／早川瑞生・イラスト／たまきゆきこ

ウダーナ ⑧

● 翻訳／正田大観

パリー語アイウエ？オ ⑦⑦

● 文・小野道雄

## 連載

## 報告 / 特集

■ 行事報告  
カティナ衣法要  
レポート

62

ゴータミー精舎  
カティナ衣法要レポート

● 文・佐藤哲朗／写真・相田晴美

記念法話  
カティナ衣法要はなぜこれほど  
尊ばれてきたのか？

● A・スマナサーラ長老  
編集・佐藤哲朗／テキスト化・佐藤敦子／写真・相田晴美

70

正山寺 カティナ法要に参加して

● 文 岩久保太希志／写真・出村佳子

■ ミヤンマー報告

73

ミヤンマーサイクロン義捐金の報告

● 文・ウ・コーサツラ西澤長老

■ 関西精舎関係の  
進捗状況報告 (28)

74

祝 戒壇の四方比丘  
サンガへのお布施式

これこそが、まさに  
やるべき大慶事だった！  
● 文・杜多千秋  
写真・趙 顕治／中條富子

■ 行事レポート

78

「高尾の森」宿泊冥想会に参加して

● 文・美藤志州／写真・相田晴美

80

大分にスマナサーラ  
長老をお迎えして

講演と冥想会『死』なんかは  
気にならない生き方』ご報告  
● 文・明西寺 原淳亮

協会ニュース 82

編集後記 83

## 12月 Information

行事と各種講座 & 会員の自主活動のご案内

- Info.1 今月の初心者指導のある冥想会
- Info.2 お知らせ
- Info.3 指導者のご紹介
- Info.4-5 12月のスケジュール
- Info.6-14 12月の行事・講座
  - 12月のトピックス
  - 12月の定例講座
- Info.15-16 宿泊冥想会
- Info.17-19 会員の自主活動
- Info.20-23 精舎のご案内
- Info.24-25 協会のご案内

監修 アルボムッレ・スマナサーラ長老  
イラスト たまきゆきこ／酒主浄忍  
写真 相田晴美／趙 顕治／中條富子／出村佳子  
誌・デザイン おかざき さゆり  
地図 おかざき さゆり  
DTP おかざき さゆり／高橋優子

# 空虚な知識人

人の中身とは解脱の智慧である

Knowledge can deceive you

仏教は信仰の宗教ではなく、智慧の宗教です。仏教徒は物事を信じるのではなく、理性をもって物事を観察するのです。経典を読んでも、信仰を勧めるところは見当たりません。しかし、理性にもとづいた信(ākāraṇī saddhā)という言葉があります。その意味は、まだ実証されていないが、理論的には事実だと仮に認めるといふ姿勢のことです。しかし、事実だと仮に信じる人は、必ず実証しなくてはいけないのです。

一般的な言葉でいえば、「納得する」という意味になります。我々は、納得すれば問題は解決だと思つていますが、しかし、それは違います。事実が明確になると、人が主観的に納得することも、納得しないことも、関係がないのです。納得する時は、事実はまだ実証されていない、という意味になる。納得は個人の主観的な理解です。だから、何かについて一人が納得すると、もう一人が納得しないことになるのです。実証された

ものは、納得する・しないに関わらず、事実、ということになります。仏教は、実証することを勧める教えなのです。したがって、ブツダが語られた真理は、普遍的な事実であつて、個人的な見方ではないのです。

実践して何かを実証する場合は、まず理論的に仮説を立てなくてはなりません。仮説を作るために、たくさん学ばなくてはならない。知識が必要なのです。仏教に興味を抱く人々は、まず仏教を学ぶのです。ブツダの教えは真理なので、学ぶ人はその教えに納得するはずで、しかし納得は、個人の主観なのです。人が納得することは、その教えが正しいという証拠になりません。納得した人は、実践して、ブツダの教えが真理か否かを実証しなくてはならない。実証したところで、仏教徒としての仕事は完了なのです。

ものごとがこの道順で進むならば、問題はありません。しかし、二つの問題が起こります。まず一番目を考えましょう。「私が探し求めたものは仏教で説かれている」と言つて、仏教に興味を抱く人も少なくあり

ません。しかしこの気持ちは、仏教を知り尽くす衝動になる場合も、ならない場合もあるのです。人は、なぜ自分が不幸なのか、どうすればこの世の中で楽に生きられるのか、先祖供養をどのようにするのが正しいのか、などなどの様々な問題に興味を抱く。よく調べると、「生きる」という問題を全体的に見るのではなく、ある一つの側面に引っかけられていることが分かります。当然、仏教には答えがあります。ある特定の問題を抱えている人は、それに答えを見つければそれで満足して、他の教えに対して興味を失うのです。その人は、仏教を理解していると言つても、仏教の微かな一部を知っただけになる。このような人々は、ブツダが説く他の真理を無視するか、誤解するか、自分勝手に解釈するか、という結果になります。仏教は大好きですが、解脱に達するほどのカクゴはない、という人々が多いのではないのでしょうか。サマーディに挑戦してみたい、呼吸方法を学びたい、超能力が現れるか試してみたい、浄土宗・日蓮宗・禅宗・真言宗などの教え